

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

1 2月号の目次

1 特色ある取組

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| (1) 角田高校 | (2) 名取高校 | (3) 仙台東高校 |
| (4) 工業高校 | (5) 仙台第三高校 | (6) 宮城第一高校 |
| (7) 松島高校 | (8) 黒川高校 | (9) 加美農業高校 |
| (10) 古川工業高校 | (11) 登米高校 | (12) 登米総合産業高校 |
| (13) 迫桜高校 | (14) 一迫商業高校 | (15) 石巻好文館高校 |
| (16) 石巻西高校 | (17) 気仙沼向洋高校 | |

2 学校紹介

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| (1) 蔵王高校 | (2) 柴田高校 | (3) 古川高校 |
| (4) 古川黎明高校 | (5) 鹿島台商業高校 | (6) 涌谷高校 |
| (7) 小牛田農林高校 | (8) 石巻工業高校 | (9) 東松島高校 |

3 お知らせ

- (1) 志津川高校

1 特色ある取組

（1）角田高校＜宇宙航空研究開発機構（JAXA）との連携＞

角田市の地の利を生かし、JAXA 角田宇宙センターを中心に連携を進めています。その一部を紹介します。

○ JAXA 新人職員による講演会（5月）

新入職員3名による講演会を3年次対象に実施しました。

○ はやぶさ2プロジェクト講演会（9月）

2022年12月に小惑星リュウグウから砂を持ち帰った探査機「はやぶさ2」プロジェクトリーダーでJAXA 宇宙科学研究所の津田雄一教授と映画「HAYABUSA2 REBORN」の上坂浩光監督による講演会に参加しました。最後には本校生徒2名を含めてのトークセッションが行われました。

○ 角田高校サイエンス研修（10月）

1泊2日の日程でJAXA 相模原キャンパスおよび調布航空宇宙センターを本校生徒8名が訪問し、宇宙開発や最新の研究について学ぶ「サイエンス研修」を実施しました。

他にも「はやぶさ2 帰還カプセル見学会」（10月）や「JAXA 宇宙教育センター長 北川智子氏による講演会」（12月）を計画しております。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://kakuko.myswan.ed.jp>

(2) 名取高校<郷土料理講習会～はらこ飯～>

10月20日(木)に家政科1年生39名を対象として、「郷土料理(はらこ飯)」講習会が行われました。栄養士の三品美智子先生を外部講師としてお招きし、森景商店店主による鮭の解体実演、はらこ飯の調理実習を行いました。

鮭の解体実演では、生徒は包丁さばきに感嘆して見入っていました。その後、はらこ飯の由来、いくらのかき方や氷頭などについて学びました。

各班の代表が鮭の切り身を煮汁で煮る作業を行いました。引き上げるタイミングなど教わりながら、その絶妙さに感心していました。「はらこ飯」を食べたことがある生徒がほとんどでしたが、自分でつくった「はらこ飯」はとてもおいしいと喜んでいました。鮭という食材は、余すところなく使うことができることを教わり、改めて食材を大事にいただくことの大切さを学ぶことができました。

この経験を生かし、みやぎの郷土料理や地元の食文化の伝承に役立てて欲しいと思います。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

（3）仙台東高校<グローバルウィーク Global Week>

今年度は11月7日（月）から11月11日（金）の期間を【Global Week】と称し、国際理解に関するイベントを開催しています。国際理解教育に力を入れている我が校ならではの行事です。この期間、国際講演会をはじめ異文化理解講座や国際協力活動など、様々なイベントを実施しました。今年の国際講演会は、「ロシアによるウクライナ侵攻の衝撃」と題して、防衛省の兵藤慎治氏をお迎えして、テレビ報道での解説より一歩掘り下げた内容の講演をして頂きました。異文化理解講座では、MIA から派遣された仙台在住のウクライナ人や IVY の4名の講師からご講話を頂いたり、JICA による「難民を知る・難民体験」ワークショップを開催しました。また、コモンホールでは「総合的な探究の時間」で取り上げているSDGsのパネル展示や募金活動も行いました。来年こそは例年実施している好評のハラルフード（カレー）の販売も実施できれば、と考えております。こうした国際色豊かな活動を通して、国際理解や地球市民意識を持った行動がとれる生徒を育成しています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉
<https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

(4) 工業高校<専門技術を生かした地域貢献>

○ 「片平丁小学校のプログラミング授業支援」について

電気科3年生は、専門技術を生かした地域貢献として、小学校でプログラミング授業支援に取り組みました。

地域貢献をとおして、社会人として必要な資質・能力（社会人基礎力）などを身に付けるとともに、小学校で必修となっているプログラミング学習の魅力を小学生に伝え、未来のエンジニアを育てることを目的として活動しました。

2年目にあたる本年度は、地元企業の（株）丸仙様の協力のもと、6年生対象ドローンプログラミング授業もあらたに実施しました。

生徒たちは、小学生に分かりやすく、楽しい授業をするために、研究・準備を行い授業に臨みました。小学生の皆さんが楽しく学ぶ姿をみて、社会貢献する事の素晴らしさと、自分たちが学ぶ専門技術が社会に役立つことを実感しました。

○ 片平丁小学校6年生3クラス対象ドローンプログラミング授業 全3回

令和4年6月29日（水）1校時から3校時

令和4年7月 7日（木）1校時から3校時

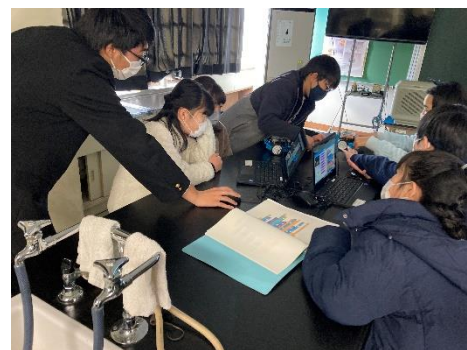
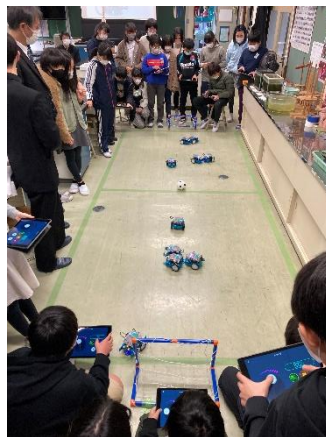
令和4年7月13日（水）1校時から3校時

○ 片平丁小学校5年生クラス組対象のMbotプログラミング教室 全3回

令和4年11月 9日（水）1校時から3校時

令和4年11月16日（水）1校時から3校時

令和4年12月 7日（水）1校時から3校時



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

(5) 仙台第三高校<三高探究の日 ~イノベーションフェスタ~>

令和4年11月8日(火)、仙台第三高校を会場に SSH 生徒中間発表会「三高探究の日 ~イノベーションフェスタ~」が開催されました。昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度もオンライン&リアルのハイブリッド方式で実施しました。

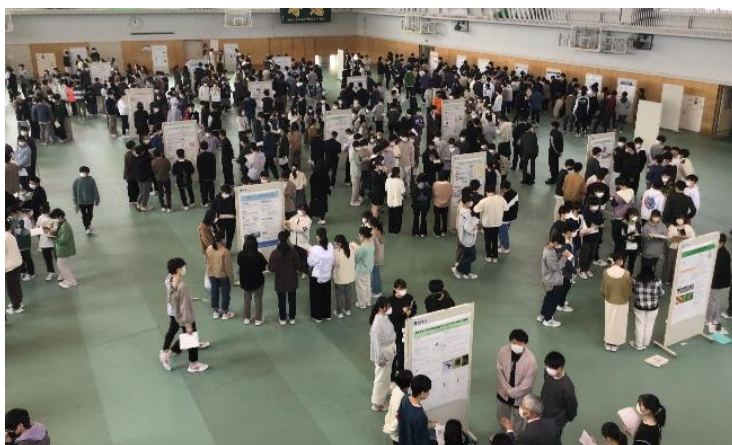
学校間交流 (Zoom による口頭発表) では、Zoom を活用し、3会場で三高の自然科学部と県内外の連携校 8 校による学校間交流を行いました。会場だけでなく、Zoom でつながった連携校からも質問があり、別な場所にいなながらも活発な意見交換がなされました。

ポスター発表では、本校理数科の課題研究、普通科の探究活動、自然科学部の研究活動に加え、招待校の山形東高校、白石高校、志津川高校と共に発表を行いました。さらに、本校 OB の大学院生による最先端研究のポスター発表を行っていただき、生徒達の良いお手本となるだけでなく、進路の道しるべにもなりました。

また、ポスター発表に参加した研究の多くが特設 WEB サイト上に『WEB 研究紹介』として掲示しました。WEB 上で多くの参加者同士が感想や質問のコメントを入力しあい、活発な意見をやりとりすることができました。

英語スライド発表では、本校理数科の課題研究班が東北大学グローバルラーニングセンター (GLC) の留学生と県内の ALT, CIR 総勢 35 名の講師の方々に対して、スライドを用いた英語による研究発表を行いました。研究内容を伝えるために表現方法を工夫して発表し、質疑応答では質問者の発言に耳を傾け、英語を用いて堂々とディスカッションをしていました。講師の方々も来校しての参加と Zoom での参加の 2 通りの方法で参加しましたが、まるで 1 つの部屋にいるかのようにリアル・オンラインどちらも活発なディスカッションとなりました。

これらの経験をとおして、多くの生徒が多角的な視点と視座を身に付け、今後の研究活動に必要なプレゼンテーション力やディスカッション力を身に付けることができたという感想を残してくれました。



イノベーションフェスタ 2022

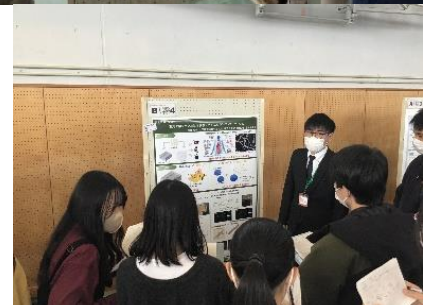
ホーム 外部 (県外) 外部 (県内) 課題1~ 課題10~ 探究1~ 探究10~ 探究20~ その他

WEB研究紹介 2022 秋

公開期間：令和4年11月7日 (月) ~11月30日 (水)

宮城県仙台第三高等学校 令和4年度 三高探究の日(イノベーションフェスタ2022)

Welcome to Sanko Research Presentation Event! Please feel free to walk around this site and find interesting research topics!



三高探究の日（イノベーションフェスタ）2022 実施規模

発表者数

参加者総数：1137名

英語スライド発表 **19題** **87名**

学校間交流 **8校** **9題** **35名**

ポスター発表 **4校** **113題** **466名**

WEB研究発表会 **4校** **85題** **355名**

※発表者数はのべ人数

(内訳) 来賓講師他校教員など 84名
仙台三高生徒 957名
山形東高生徒 7名
白石高生徒 12名
志津川高生徒 2名
三高職員 75名

(WEB内訳) 仙台三高 70題 319名
立命館宇治高 3題 8名
盛岡第三高 3題 11名
新発田高 3題 10名
気仙沼高 5題 5名
志津川高 1題 2名

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

〈6〉宮城第一高校〈広瀬川で地域フィールドワーク〉

本校国際探究科・理数探究科（1年生）が、10月27日（木）に牛越橋近くの広瀬川でフィールドワークを行いました。探究科フィールドワークは、年4回の実施予定で今回が3回目です。生徒たちは胴長を着込んで水に入り、手慣れた様子で水底の石についている水生昆虫を採集していました。晩秋の川にいる生き物の数は少ないものの、丹念に観察すると小さな生き物を見つけることができます。水生昆虫の種類や水中の有機物量などの化学的な分析によって、広瀬川の水質を評価するデータを収集しました。また、地学分野のフィールドワークも同時に行いました。地層の観察や河原の岩石の種類を同定するなど、広瀬川流域の地質や地質学的歴史などについて考える取組です。参加した生徒たちは、安全に配慮して、主体的に活動、協力して楽しそうに調査を進めていました。

本校は、青葉山や広瀬川などの自然や大崎八幡宮などの歴史や文化、地域商店街との交流など地域から学ぶ環境が整っています。教室の外に出た今回のフィールドワークによる学びも、教科等横断的な見方・考え方を養うことにつながるものだと考えています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

(7) 松島高校<活動紹介>

○ 松高おもてなしツアーが実施されました。

令和4年11月5日(土)に観光科第3学年の生徒が企画した観光商品「松高おもてなしツアー」を宮交観光サービス株式会社様の御協力をいただいて実施をしました。

生徒は、抹茶体験、フォトフレーム製作体験、人形制作体験、昼食のオリジナルメニューの開発、国宝瑞巖寺・円通院の拝観、松島武将隊演舞見学、藻場再生活動、装飾、リーフレット・メッセージカード制作等の内容をチームに分かれて準備してきました。

当日は、約30名のお客様が参加し、「寒い中、楽しいツアーの企画・運営ありがとうございました。ツアーの内容もお料理もとてもすばしかったです。ガイドも分かりやすくとても勉強になりました。本当に楽しい1日でした。」との感想をいただきました。

生徒も「準備が大変でしたが、内容を工夫しました。とても良い経験となりました。」と感想を述べていました。



○ 令和4年度専門高校等の魅力発信イベントに参加しました。

令和4年11月6日(日)に専門高校等における学習成果や産業教育の魅力を発信するイベントに観光科2学年の生徒が参加しました。

生徒が制作した「観光科活動紹介」パネルの展示、「松島観光PRリーフレット」の作品展示、開発中の商品「どらもく(あかもくどら焼き)」の製品イメージパネルを展示しました。イベント中に生徒は、多くの方に声をかけていただき、県内唯一の観光科と地元松島のPRを元気に行いました。生徒は「お客様へのPRを目的としたリーフレットの名所紹介やマップの制作が大変でした。」と感想を述べていました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(8) 黒川高校〈普通科の探究学習「くろたん」〉

黒川高校は普通科（2クラス）が設置されており、普通科では一人ひとりの個性を伸ばし、基礎的な学力と表現力、豊かな想像力を身につけることで、大学進学から就職まで多様な進路に対応できる学習に力を入れています。

「総合的な探究の時間」は『くろたん（くろこうのたんきゅう）』という名称で3年間にわたり継続的な探究活動を行っています。1年生では探究の手法やテーマ設定の仕方を学びつつ、グループに分かれて思考力や情報収集能力を高める学習に取り組んでいます。2年生は「地域課題の探究と課題解決」を大きなテーマとし、黒川高校が所在する大和町の「まちづくり」を探究活動の対象としています。地域の豊かな魅力に対する理解を深め、地域振興や文化・歴史、商工業の発展や安全・防災、医療・福祉など多様な分野が抱えている現状の課題について生徒が主体的に調べ考察し、その成果を発表する予定です。9月29日（木）には大和町役場を訪問し、12課20名の大和町職員の方々に直接インタビューして地域の現状について説明していただきました。地域の将来を支える人材となるべく、生徒は熱心に説明を聞き質問を重ねていたようです。12月20日（火）には、地域の発展に従事している4つの分野の社会人の方々に講師を迎え、「まちづくり」に関するトークタイム「地域探究セミナー」を行いました。また、3年生はこれまでの探究活動の総まとめとして「ふるさとPR動画」の作成に挑戦しています。

地域と密着し「地元」がもっと好きになる探究活動を一つのきっかけとして主体的・協働的な学びを深めてみたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ黒川高校普通科への進学を考えてみてください！



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kurokawa.myswan.ed.jp>

（9）加美農業高校〈寮の紹介〉

本校には寮があります。寮では規則正しい共同生活が基本です。寮生活は寮生会という寮生の自治組織でルールを決めたり、各種交流行事の企画・実施を行ったりしています。

11月には「寮祭」があります。寮祭は夜に行われ、寮生全員が楽しめる行事です。スポーツ大会、ビンゴ大会などいろいろな催し物のクライマックスに火文字を行います。火文字は、3年生の寮生が中心となり、約2週間かけて稲わらを編んでつくります。それに火を灯し、校訓である「耕心」の文字を浮かび上がらせます。

親元を離れ、同世代の仲間と共同生活ができることや社会への自立に向けた準備ができるのも本校の特徴のひとつです。みなさんも一緒に楽しんでみませんか。

学校のウェブサイトでは寮生活の様子を「耕心寮ブログ」で公開しています。是非御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

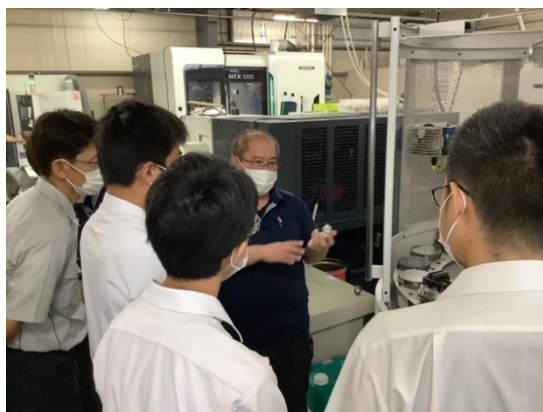
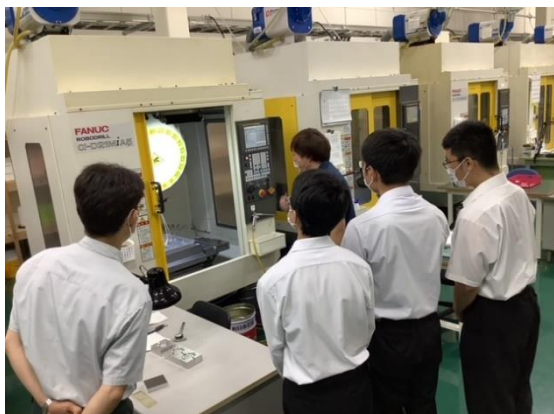
(10) 古川工業高校<機械科職場見学会について>

機械科では、職業教育の一環として、全学年で職場見学会を実施しています。

特に、2学年では、7月中旬に近隣の事業所12社の御協力をいただき、職場見学会を実施しました。事前指導として行った5Sの講義・研修を通して、労働安全衛生に対する理解を深めた上で、普段の学校生活では体験することのできないものづくり現場の一端に触れてきました。企業の方々からは貴重なアドバイスをいただくことができ、将来のキャリアを築く上での一助として大変有意義な見学会となりました。

【参加生徒の声】

- 👉 働く技術者たちの姿を近くで見ることはなかなかないので、本当にいい経験となった。この経験をしっかりと将来に生かしていきたい。
- 👉 実際に働いている人の声を聞くことはいい経験になったし、自分達の将来をイメージすることもできた。
- 👉 ネットで調べたり話を聞いたりするより、職場に行って実際に見せてもらう事が自分にとってとても大切だと思った。
- 👉 学校とは違う雰囲気や、機械科の実習では目にできない高級機械を目の当たりにして興奮する事が多々あった見学だった。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(11) 登米高校<登米小での読み聞かせ活動>

登米高校では、隣接する登米市立登米小学校の「朝の読書タイム」（8時15分から30分）に合わせて訪問し、絵本や紙芝居の読み聞かせをする活動を続けて来ました。

普段の登米高校生は、「朝の読書」が始まる8時30分までに登校することになっていますが、「読み聞かせ」に参加する生徒は8時過ぎに集合して、小学校に向かいます。活動が終わって帰ると、ちょうど高校の朝のホームルームが終わる頃で、1時間目の授業開始には十分に間に合う時間です。早起きしての登校は大変なはずなのですが、小学生との交流が楽しくて、毎年、2回3回と回を重ねて参加する生徒がたくさんいます。参加は希望者が優先され、ボランティアに興味のある生徒や、家庭科「子どもの発達と保育」受講者などの進路を意識する生徒、図書委員などです。

今年は登米小学校の1年生から3年生までの教室に伺っています。6月から始まって11月までの間に計5回の活動を行うことができました。新型コロナウイルス感染症予防のため令和2年度は1回、令和3年度は3回しか訪問できなかったのですが、今年度はほぼ例年とおりの回数を実施できそうです。

経験者が少ないながらも、担当者同士で話し合ったり、互いの読み聞かせを評価し合ったりしながら、過去の記録なども参考に、各学年の児童に合わせた本選びや、話し方などを工夫して、練習を重ねて当日を迎えます。「ページをめくるごとに反応をしてくれて、最初は緊張したがとても楽しかった。」「ゲームやお話を子供たちが楽しそうに聞いていた。」などの感想が寄せられ、生徒自身も楽しい時間を過ごしているようです。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tome-h.myswan.ed.jp>



（12）登米総合産業高校＜各科の取り組み＞

本校では、農業、機械、電気、情報技術、商業、福祉の6学科を有し、生徒はそれぞれの学科で専門的な知識や技術を学んでいます。今年度は、県主催の魅力発信イベントに参加し、地元の商業施設で、各学科で学んだ成果物を地域の方に販売・披露しました。また、外部講師を招いた出前授業や体験授業をおこなったり、工場・施設見学、敬老交流会、園児たちとのイモ掘り交流学习など多くの取組を各学科でおこなっています。



また、2年生ではインターンシップ（職業体験）を実施し、各学科で学んでいることをさらに深め、実際に現場で働く方々の視点や考えに触れながら、将来の進路について考える機会を持ちました。本校ならではの取組についてはHPにブログとして掲載していますので、ぜひアクセスしてみてください。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

（13）迫桜高校＜シクラメン・農産物販売会＞

11月26日（土）、本校農場にてシクラメンと農産物の販売会が行われました。アグリビジネス系列の生徒が丹誠込めて育てた花と野菜は、毎年地域の方々に大人気です。

当日は穏やかな晴天のもと、開店前から多くの地元の方々に御来場いただき、温室の前に大行列ができる盛況ぶりでした。訪れた方々は、色とりどりで種類も豊富なシクラメンの中から気に入った花を、先を争うように選んで2鉢、3鉢、多い方だと5鉢以上も購入してくださいました。また、温室を出た先には農産物の販売コーナーがあり、ここでも市場より3から5割安い野菜をたくさん御購入いただきました。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

（14）一迫商業高校＜地域と連携した取組（栗原版デュアルシステム）＞

平成17年度から文部科学省の指定を受け、学校の勉強と企業への企業実習・起業家研究・販売実習をとおして専門的な知識と技能を習得するデュアルシステムを導入しております。「デュアル」とは2つという意味です。学校教育と職業訓練を同時に進める取組で、「長期間の実習」を授業に取り入れています。

栗原版デュアルシステムの3つの取組

＜企業実習＞

6月から11月までの長期（R4年度は12回）にわたり実習を行います。地域産業と連携し、職業についての知識や技能を身に付け、将来の地域産業の担い手となる優秀な人材の育成を目指しています。職業人として必要とされる創造性や積極性・協調性等を実習で学んでいきます。

＜起業家研究＞

自分が起業するならどうすればいいのか。企業が抱えている課題を教材として提供していただき、最適な課題解決方法を考え出します。話し合いを積み重ね、課題解決能力を高める学習です。起業家の理念や経営方針を理解し、問題点を洗い出し、高校生のフレッシュな視点で提案しています。

＜販売実習＞

消費者の求めている商品・サービスを調査し、実際に商品の仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを学びます。JA 新みやぎの農産物直売所「あやめの里」の店舗前を借り受け、「一商チャレンジショップきてけさいん」を行います。商業高校ならではの取組でもあり、地域の皆様から大好評です。今年度は11月11日（金）と25日（金）の2日間行いました。



企業実習・K'sケーズデンキ



起業家研究・栗駒六日町商店街



販売実習・あやめの里店舗前

＜学校のホームページはこちらです＞

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

(15) 石巻好文館高校<総合的な探究の時間 ～ SDGs 探究活動～>

本校では、1年次にグループで「SDGs 探究活動」に取り組み、「探究」のプロセスを体験します。この経験を生かし、2年次では自分で課題を見つけ、研究を行う分野別課題研究に取り組んでいます。

その活動の一環として、11月9日(水)、1年次の「SDGs 探究活動」発表会を開催しました。生徒はSDGs達成に向けて取り組みたいアクションを、クラス内で発表したり、他班の発表を聞き、自分に取り入れ、より良いアクションについて考えたりしました。「エコバック持参など、日々、心掛けて生活することが社会への貢献になると思うので、小さなことから少しずつ実行していきたい。」「石巻は海のイメージが強いと改めて感じたが、陸を守ることで海もきれいになるという考えを発表したグループもあり、新たな視点に気付かされた。」などの感想がありました。どのグループからも良い提言が多く出され、地域の認識を再確認できた活動でした。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://koubunkan.myswan.ed.jp>

(16) 石巻西高校<主体的に学び、自らの考えを表現するために>

本校は、今年度より三菱みらい育成財団「心のエンジンを駆動させるプログラム」採択校として、総合的な探究の時間を柱に地域資源や地域人材を積極的に活用した探究的な学びや課題研究に取り組んでいます。

具体的には探究学習を進める準備として行う外部講師による「コミュニケーショントレーニング」「自己理解講座」、若手社会人に生徒たちがインタビューを行う「街ライブラリー」、地域事業所から提示された課題の解決を探究するインターンシップ「街ミッション」、課題探究フィールドワーク「街クエスト」、地域の大人や教職員と自らの探究活動について対話を重ねる「作戦会議」、生徒個々人の興味関心や課題意識に沿って探究を進める「地域課題研究」等を行い、生徒のコミュニケーション力や自己肯定感を高め、地域・社会貢献意欲等の向上を図り、将来的には石巻地域に貢献できる人材や持続可能な未来社会を創造する人材の育成を目指しています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://inisi.myswan.ed.jp/>

(17) 気仙沼向洋高校<長期航海実習>

気仙沼向洋高校では、3学科ある中の1つである情報海洋科海洋類型の2年生及び専攻科1年生が10月上旬から11月中旬までの間を海の上で過ごしています。

漁業実習では、延縄の投縄と揚縄を行います。投縄は枝縄の準備、揚縄は漁獲物の体長測定、「ストローブ」といって水揚げの際に釣り上げるためのロープをつける作業などを行います。航海実習では、ワッチ（見張り）や、気象観測を行います。天文航法も学び、「六分儀」という道具を使い、現在地を測る勉強をします。

船の生活では、はじめは船酔いをしますがだんだん慣れてくるようです。実習だけではなく、掃除や食事当番があり、全員で協力して船上で生活を送ることになります。

どれも普通高校では経験できない貴重な体験であり、将来の水産業の担い手を育成する大切な実習となっています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>

2 学校紹介

(1) 蔵王高校<「福祉」の授業が充実～「介護職員初任者研修」の資格取得を目指して!>

蔵王高校では、高齢化社会に対応し、地域に貢献できる人材の育成を目指して、2年生から選択科目として「福祉」の授業を設定しています。2、3年生で介護職員初任者研修の科目を学び修了試験に合格すると資格を取得することができます。令和元年度は8名、令和2年度は3名、令和3年度は6名が修了し、それぞれが資格を生かして福祉施設などに就職をしました。授業で基礎的な生活支援技術を学び、夏休みには施設実習や訪問介護の同行実習を体験します。実際の介護の現場で得られる学びは、貴重な財産です。

蔵王高校では進学、就職等のあらゆる生徒のニーズに応えるためのカリキュラムを用意しています。さらに、少人数であればこそ一人ひとりに対して丁寧な指導をすることが可能です。落ち着いた環境の中で、優しい先輩たちや級友たちと一緒に、あなたも学んでみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>



(2) 柴田高校<学芸部紹介>

現在、本校の学芸部は、音楽（吹奏楽・軽音）・家庭・美術・囲碁将棋・書道・茶華道・サイエンスの8部が活動しています。運動部の活躍が目立つ柴田高校ですが、学芸部が主役となる場も多くあります。文化祭では吹奏楽部による演奏、家庭部による手芸品の製作・販売、茶華道部の実演などを行います。どの団体も毎年注目を集め、柴高祭には欠かせない存在です。今年も大いに盛り上げてくれました。そして、そのような場は校内にとどまらず、吹奏楽のコンクール、茶華道部の「花いけGo!全国高校生花いけバトル東北大会」等、各種大会へも積極的に出場しています。盛んな部活動が魅力である柴田高校、学芸部においても多くの生徒が活躍しています。部活動の様子は随時ホームページでも更新していきます。どうぞ御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(3) 古川高校<大学出前講座>

10月25日(火)毎年恒例の大学出前講座を実施しました。対象は1・2年生470名でしたが、開講講座のタイトルを見て「ぜひ参加したい」と熱望した3年生が10名ほど飛び入りで参加しました。新型コロナウイルス感染症も幾分収まっていたため、全8大学14名の先生方のほとんどが対面方式で生徒たちに講義を行ってくださいました。

時間は各講座70分、受講人数は25名から40名で、午前と午後に2回実施しました。生徒は各自が開講講座のタイトルや内容をもとに事前に選んだ第1希望から第4希望の中から2つの講座を受講しました。内容によっては1年生には難しすぎる物理の話だったり、数学の公式が出てきたり。歴史の話なのかと思ったら文化人類学であったり、と生徒たちにとっても「思っていたのとは違ったあ」というパターンも多くあったようです。しかし、それがまた「驚き」「発見」で「新しい世界」に繋がるのが高校生の特権です。講師の先生方からも「生徒たちからフレッシュなパワーをもらえた」と好評を頂きwin-winの出前講座となりました。

以下、生徒の感想の一部を抜粋します。「化学は実際に実験をして調べていると思ったので、今はコンピュータでシミュレーションすると聞いて衝撃」「自分が思っていたこと感じていたことを経済をとおして考えると、違ってみえておもしろかった。遅刻を減らすための罰金が逆に遅刻する人を増やした例は私にとっても意外だったし、すごく興味を覚えた。」「自分に自信が無いのでどうしたらいいのか、と考えているときにこの講座に興味を持ちました。話が進むにつれて『あ!そういうことか……。』と感動しました。成功の反対は何もしないこと、挑戦しないことであるというお話はとても印象に残っています。」など。今後の生徒たちの成長が楽しみになる感想が多く寄せられました。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>



（４）古川黎明高校＜明けない夜はない，進もう新たな黎明へ！＞

中高一貫校である本校は，学校行事も中高合同で開催されています。7月には黎明祭，9月には体育祭が行われました。

黎明祭は3年ぶりに2日間で開催され，コロナ禍でできる最大限の黎明祭にしようと，新型コロナウイルス感染症対策に気を配りながらも大いに盛り上がりを見せました。体育祭でも3年ぶりに中高合同の競技が実施され，縦割りでの色別チームをつくり，学年の垣根を越えてチームの勝利のために健闘しました。各チームで作成した応援旗も個性豊かで会場に花を添えました。

力を入れるのは学校行事だけではありません。本校はSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定を受けており，現在は2月に予定されている黎明サイエンスフェスティバルに向け，発表の準備をしているところです。例年，他のSSH校や大崎地区の小・中・高等学校，タイ王国の交流提携校等から参加を受け入れ，学術交流をはかっています。

《 黎明祭 》



ステージ発表

《 体育祭 》



青チーム旗

《 サイエンスフェスティバル 》



例年の様子



茶華道部



玉入れの様子



コロナ禍オンライン

＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

（５）鹿島台商業高校＜学校紹介＞

本校の特徴的な取組を紹介します。

小学校の卒業アルバム制作を2年生の課題研究でおこなっています。生徒たちが小学校に赴き，写真を撮り，児童が喜んでくれるようにデザインを複数考え，プレゼンをしています。選ばれたデザインは，実際に製本されて，児童の思い出として，長く愛されることとなります。生徒たちも児童や御家族の喜びに触れ，働くことの意味を教わっています。



また，3年生の地域ビジネスプランニングという授業では，地域の活性化を図る取組として，JR東日本の駅からハイキングのプログラムを作り，実際に旅行者を募って，案内をしています。

このように，体験的な学習をとおして，商業の学びを定着させています。

＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

（6）涌谷高校＜地域連携型学校防災体制等構築推進事業被災地訪問学習＞

12月7日（水）に1年生，12月8日（木）に3年生が被災地訪問学習を行い，震災当時の状況や震災の教訓を学びました。大川小学校では，講師の方のお話を伺いました。大川伝承の会共同代表の佐藤敏郎さんからは，「悲しみや恐怖，後悔が，助かる未来のきっかけになれば」「逃げる時間も情報も手段もあったのに救えなかった。『なぜか』を考えて欲しい。そうでないと，児童や先生の命も11年間の日々も無駄になってしまう」というお話をいただきました。

大川小学校を見学し終えた後はシーパルピア女川でそれぞれ昼食をとり，旧女川交番の遺構を見学しました。また，学校までの帰路で，バスの車内からではありましたが石巻南浜津波復興祈念公園や門脇小学校を見学しました。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/>

(7) 小牛田農林高校<稲章祭(文化祭)>

コロナ禍の影響により、この2年間はオンラインでの開催でしたが、今年は一般公開を含め2日間の稲章祭となりました(10月28日(金)から29日(土))。しかしながら、在校生に3年前の稲章祭を知る者はおらず、手探りの中でその準備を進めてきました。委員会や生徒会は半年も前から率先して何度も集まり、「何ができるのか」、「どうすれば良い文化祭になるのか」の観点で話し合いを重ねてきました。「牛コンテスト」と呼ばれる全校制作は、生徒から出たアイデアの一つです。前日ギリギリまで準備に追われた生徒たちでしたが、何とか一日目の校内発表の日を迎えました。吹奏楽部の演奏から始まった校内発表は、イングリッシュクラブ愛好会の発表と校内弁論大会へと続き、午後のクラスステージ発表で大いに盛り上がりを見せました。2日目の一般公開は、各会場で主に学芸部(文化部)の展示発表があり、多くの来場者が日頃の学習成果を見にきました。また、本校の特徴でもある野菜販売も行われ、あっという間に売り切れてしまいました。出展にはPTAも含めた18団体が参加し、活気に溢れた一般公開の日となりました。生徒も教員も来校者も笑顔になった今年の稲章祭でした。



ステージパフォーマンス



「牛コンテスト」(全校制作の一部)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kogotanourin.myswan.ed.jp/>

（8）石巻工業高校<石巻工業ブカツ通信 2022>

石巻工業の部活動を紹介します。運動部・文化部ともに活発に活動をしています。

ボート部は愛媛県にて開催されたインターハイに出場し、男子舵手付きクォドルプルという競技において準々決勝まで進出することができました。高校に入学してから競技を始めた選手が多い中で素晴らしい活躍を見せてくれました。サッカー部は総体や新人戦、選手権大会への出場はもちろんのこと宮城県リーグへも参加しており、部員全員が公式戦に出場して活躍する機会を得ています。また、学校近くの人工芝グラウンドで練習を行うこともあり、充実した活動を行うことができています。化学技術部はものづくりコンテストに参加し、水の硬度を測定する大会に出場したり、日頃の研究成果をまとめてプレゼンする、生徒活動成果発表会に参加しています。

紹介した以外にも、たくさんの競技で活躍をしています。石巻工業では部活を頑張りたいみなさんを待っている仲間がたくさんいます。一緒に青春しましょう！



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

(9) 東松島高校<秋の行事・取組紹介>

○ 「東松祭」

今年度は「～桜梅桃李～アーニャ東松が好き！！」というテーマで行われました。

展示部門では、理科や英語、保健体育で作成した英語レポートや新聞、書道や美術で制作した作品など、授業の成果が発表されました。

ステージ発表では、生徒のダンスやヒガ☆コレ（コスプレ・男装女装など）で盛り上がり、全校制作のモザイク壁画や、海をテーマにしたステージ装飾が祭りの雰囲気を出していました。

○ 「劇的空間☆ひがまつ座～演劇的ワークショップ～」

演劇特別授業が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった代替として、東北大学の虫明教授やPLAY ART! せんだいの方々などの協力をいただき、演劇的手法で自己表現力を高めるワークショップを行いました。先生方も一緒になり、グループごと、キーワードを元に最高のワンシーンを演じました。



ホームページでブログ“ひがまつライフ”を更新しています！



宮城県東松島高等学校HP



< 学校のホームページはこちらです >

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

